

介護人材確保対策について

厚生労働省による
総合的な介護人材確保対策

① 処遇改善

・ 処遇改善加算取得促進支援

加算未取得や上位加算取得を目指す事業所向けの取得促進セミナー及び個別相談会開催

② 多様な人材の確保・育成

・ 介護のすそ野拡大推進事業

有償ボランティアマッチングサイト「スケッター」を活用した介護未経験者と事業所のマッチング

・ 人材育成研修事業

介護人材のスキルアップのための介護サービス従事者研修、認知症介護実践者研修、職場環境改善セミナー

③ 離職防止 定着支援 生産性向上

・ 先進的介護「北九州モデル」の普及促進

介護テクノロジーを活用した業務改善による生産性の向上。

- ・ 先進的介護「北九州モデル」の普及促進
- ・ 在宅版「北九州モデル」の構築
- ・ 介護助手の活用推進

・ A I を活用した問合せシステムの導入

介護保険制度の疑義回答に特化した生成 A I を導入

④ 介護職の 魅力向上

・ 「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業

介護職の魅力発信、若手介護人材のコミュニティ形成、ゆめみらいワーク

・ 介護のしごと出前授業

出前授業で児童生徒に介護職の魅力 PR

・ 求職者向けの DVD セミナー

ハローワークと連携して求職者向け情報発信

⑤ 外国人材の 受入れ環境

・ 外国人介護人材育成支援事業

市内介護事業所で就労する外国人介護人材の介護福祉士取得を支援

9

① 処遇改善

処遇改善加算取得促進支援

介護職員等処遇改善加算について、加算未取得事業所及び上位加算取得事業所に対して、専門的な相談員（社会保険労務士など）による「取得促進支援セミナー」「個別相談会」を実施。

キャリアパスの構築や昇給制度の整備等に向けたアドバイスを行い、市内介護事業者の加算取得を支援する。

令和 7 年度実施内容

- ・ セミナー（加算未取得）：参加者 12 事業所
- ・ セミナー（上位加算取得）：参加者 15 事業所
- ・ 個別相談会：参加者 7 事業所

⇒ 令和 8 年度に 12 事業所が加算を新規取得

令和 8 年度実施内容

令和 8 年度報酬改定を受け、5 月にセミナー、6 月に個別相談会を実施。

- ・ セミナー（加算未取得）：参加者 26 事業所
- ・ セミナー（上位加算取得）：参加者 14 事業者
- ・ 個別相談会：参加者 15 事業所

② 多様な人材確保・育成

介護のすそ野拡大推進事業

介護人材確保の課題に対して、介護未経験者と介護事業所をつなぐ有償ボランティアマッチングサービス「スケッター」を活用し、介護人材のすそ野を広げる取組を推進することで、介護の関係人口の増加や多様な人材の参入促進を図る。

令和 7 年度実施内容

- ・ 事業所向け業務出し研修会の実施（2 回開催）
- ・ マッチング機能促進広報の実施（SNS 等情報発信、PR 動画作成）
- ・ マッチング状況の効果検証、分析調査

・ スケッター登録者数 617 名 ⇒ 685 名
⇒ 登録事業所数 54 施設 ⇒ 56 施設
・ マッチング件数 1,907 件 ⇒ 2,543 件
(R8.3.31時点) (R8.6.30時点)

② 多様な人材確保・育成

人材育成研修事業

階層別、テーマ別に複数の研修を実施することで、介護職員の人材育成（資質の向上）を図り、質の高い介護を提供することで、他人から認められることが増えたり、やりがいにつながることで、離職防止を支援。

また、経営層・管理職向けの「介護の職場環境改善セミナー」では、働きやすい職場環境づくりをテーマで研修を実施。

令和 7 年度実施内容

- ・ 介護サービス従事者研修：36 講座、受講者計 1799 名
- ・ 介護従事者等認知症研修：7 講座、受講者計 267 名
- ・ 介護の職場環境改善セミナー：11 回、受講者計 436 名

10

③ 離職防止・定着支援
生産性向上

先進的介護「北九州モデル」の普及促進

介護人材不足に対応するため、介護テクノロジー等を活用した業務改善手法 先進的介護「北九州モデル」の普及促進を図り、介護施設において介護の質を維持しつつ生産性を高めていく。

「北九州モデル」の普及促進

- ・毎年度市内5施設へ、専門相談員による伴走型で「北九州モデル」の導入支援を実施
⇒ 累計25施設に導入済、令和8年度も5施設への導入支援を実施中
- ・導入した施設の改善効果などをまとめた事例集の作成
- ・テクノケア北九州にて介護テクノロジーに関する相談支援や機器等の試用貸出等
⇒ 市内の介護テクノロジー等の導入施設数は192施設へ増加

「北九州モデル」の深化・拡充

○在宅版「北九州モデル」の構築

令和6年度の在宅介護事業へのアンケート調査で判明した課題解決に向け実証を行った。

- ・複数事業者で、共通の情報共有ツールを活用し「日々の連絡」の業務時間を約63%削減（※1）。
- ・事業種別ごとの実証では、記録業務や訪問スケジュール管理の効率化に対してAIや音声入力等のICT活用に加え、業務フロー見直しを実施することで大幅な業務効率化を実現した。
⇒ 令和8年度に実証結果を取りまとめ、今後の普及展開方向性を検討

※1 利用者に関係する4事業者間で、連絡後に1事業所に伝言する想定で試算

○介護助手の活用推進

令和6年度のモデル実証を踏まえ、介護施設が介護助手を活用する際の手引きとして、事前準備にあたる業務の切り分けから、教育・定着支援に至るガイドラインの作成及び、効果的な普及のためのPR動画を作成した。

⇒ 令和8年度中に、ガイドラインの公表と導入に向けたセミナー・ワークショップを開催予定

③ 離職防止・定着支援
生産性向上

AIを活用した問合せシステムの導入

複雑な介護保険制度に関する介護事業所からの問合せに対して、AIが即時回答するシステムの導入を行うことで、事業所の業務負担軽減と行政の問い合わせ対応の円滑化を図る。

令和7年度実施内容

- ・AI回答システムの構築及び検証を実施

⇒ 令和8年度中のサービス開始を予定

特 徴

- ・開庁時間に関わらず24時間利用可能
- ・膨大な法令や通知から、必要な情報を探す手間を大幅削減
- ・複雑で難解な法令や通知を、AIが平易な表現で要点を整理

11

④ 介護職の魅力向上

「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業

介護のしごとに対するネガティブイメージを払拭し、介護職に対する認知度の向上やイメージアップに向けた情報発信を行い、介護人材のすそ野を拡大し、多様な人材の参入促進につなげる。

令和7年度実施内容

- ・WEBサイトの運用(機能拡充)とSNSを活用した情報発信：Webサイト「みらいつなぐ北九州」の運営
- ・若手介護人材を中心とした「介護みらい会議」の開催：2回開催 約60名参加（第1回 11/22、第2回 2/14）
- ・北九州ゆめみらいワーク(中高生向け職業紹介イベント)にブース出展：ブース来場者 663名

④ 介護職の魅力向上

介護のしごと出前授業・求職者向けのDVDセミナー

次世代に向けた介護職のイメージアップの取組として、主に小学生、中学生に対し、介護事業所の職員が出前授業及び、ハローワーク小倉において、毎月求職者向けに介護の仕事の魅力発信の説明を実施。

介護の仕事の意義の啓発とイメージアップを図り、将来的な介護施設や事業所への就労意欲の育成を促進する。

令和7年度実施内容

- ・介護のしごと出前授業：11校 925名
- ・求職者向けのDVDセミナー：毎月開催、各回20名程度参加

⑤ 外国人材の受入れ環境

外国人介護人材育成支援事業

市内唯一の介護福祉士養成施設である九州医療スポーツ専門学校と連携して、市内の介護事業所に従事する外国人を対象に介護福祉士資格取得を支援する独自カリキュラムを実施。介護福祉士の資格が取れないために帰国することが無いよう、就労・定着を促進を図る。

令和7年度実施内容

- ・介護福祉士国家試験の合格を目指すコース：受講者5名中、4名合格

⇒ 令和8年度 募集状況：定員15名のところ、定員を超える申し込み。

12